

第63回小樽市内優秀高校生 卒業表彰を終えて

2510地区第6グループ 小樽南ロータリークラブ

今年2月4日に「第63回小樽市内優秀高校卒業生表彰」が行われました。本事業は、当クラブが1960年2月5日創立・2月12日RI承認・設立され、その年の1960年10月7日、クラブ協議会において、「3月に優良高校卒業生の表彰を、社会奉仕委員と真心箱委員が協力の上計画されたい」と勧告を受け、第1回目の表彰式がその年開催されてより当クラブの継続事業として続けられてきました。現在は青少年奉仕委員会が主体となり「小樽市内優秀高校卒業生表彰式」として行われてきております。対象の高校は小樽市内の支援学校、聾学校を含めた全日制9校そして定時制高校2校を含めた11校で各校より推薦を頂いた学生に表彰しております。毎年、地元の新聞や情報誌に掲載されておりますが、2015年2月20日の第55回以降3年間は、STVテレビの「小樽フラッシュ・ニュース」にも取り上げられました。コロナ禍の中では、場所を変えて行ったり、表彰式はやらずに記念品の配布のみにとどめたりしながらも途切れる事もなく続けられてきました。



今年2月4日に第63回目の式典で、新たに11名の卒業生が表彰されました。これまで受賞された生徒数は、延べ750名に達しております。

受賞者には、受賞者紹介と共に地元小樽で作られた硝子製の盾が送られ、当クラブ山村会長より「これからの人生を希望と誇りを持って生活してください。我々ロータリアンの胸に基づく立派な行動・人格の形成・職業において道徳的水準を高め、社会に奉仕し立派な人間になることを心から願う」との祝辞を贈らせて頂きました。

現在、多くの受賞者が世の中で活躍していることと思っておりますが、ここ数年は高等学校も統合等で少なくなっているものの、小樽南ロータリークラブの継続事業として今後も未来を担う学生の目標になる表彰式に行きたいと考えております。

